

2026年3月期 第3四半期

決算補足説明資料

***Nice* ナイス株式会社**

(証券コード：8089)

この説明資料には将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。
将来予測にはリスクや不確定な要因などが含まれており、実際の成果や業績は予想と異なる可能性があります。

目次

1. 2026年3月期 第3四半期 連結業績
2. 2026年3月期 連結業績予想
3. Appendix
 - ・ ナイスグループのご紹介
 - ・ 当社グループを取り巻く環境
 - ・ 第3四半期 TOPICS

1. 2026年3月期 第3四半期 連結業績

売上高が過去最高水準※

- ・各セグメント（建築資材・住宅・その他）がすべて増収
- ・売上高は前年同期比10.4%増の1,887億12百万円
- ・営業利益は前年同期比95.9%増の28億24百万円

建築資材事業の建材・住宅設備機器が伸長

- ・前第3四半期より連結子会社化した株式会社セレックスが増収に寄与

住宅事業の新築及び中古買取再販マンション等が堅調に推移

- ・新築及び中古買取再販マンション売上計上戸数が前年同期の146戸から232戸に58.9%増加

※前期以前のすべての第3四半期において、収益認識に関する会計基準等を適用したと仮定して算定した売上高は過去最高となりました。

連結業績 概要



(単位：百万円)	2025年3月期第3四半期	2026年3月期第3四半期	増減額	増減率 (%)
売上高	170,889	188,712	+17,822	+10.4
営業利益	1,442	2,824	+1,382	+95.9
経常利益	1,322	2,709	+1,386	+104.8
親会社株主に帰属する 四半期純利益	396	1,632	+1,235	+311.6
1株当たり四半期純利益	33円52銭	137円19銭	+103円67銭	-
EBITDA ※	2,881	4,776	+1,894	+65.7

※ EBITDA：営業利益＋減価償却費＋のれん償却額

売上高

- ・ 建築資材事業のサッシ・エクステリア等の販売が増加
- ・ 住宅事業の新築及び中古買取再販マンションの売上計上戸数が増加したほか、一棟収益物件の売上計上が寄与

営業利益

- ・ のれん償却等により販管費が増加したが、増収に伴う売上総利益の増加により増益

経常利益

- ・ 受取配当金と支払利息が増加、営業外収支は前年同期比でほぼ横ばい

親会社株主に帰属する 四半期純利益

- ・ 特別損失が減少した一方、法人税等が増加

セグメント別売上高



セグメント別売上高

(単位：百万円)	2025年3月期 第3四半期	2026年3月期 第3四半期	増減額	増減率 (%)
建築資材	136,207	145,832	+9,625	+7.1
住宅	28,262	34,885	+6,623	+23.4
その他	6,420	7,994	+1,574	+24.5
合計	170,889	188,712	+17,822	+10.4

建築資材

- ・ サッシ・エクステリア等の販売が増加
- ・ 建材・住宅設備機器の新規取引先が増加

住宅

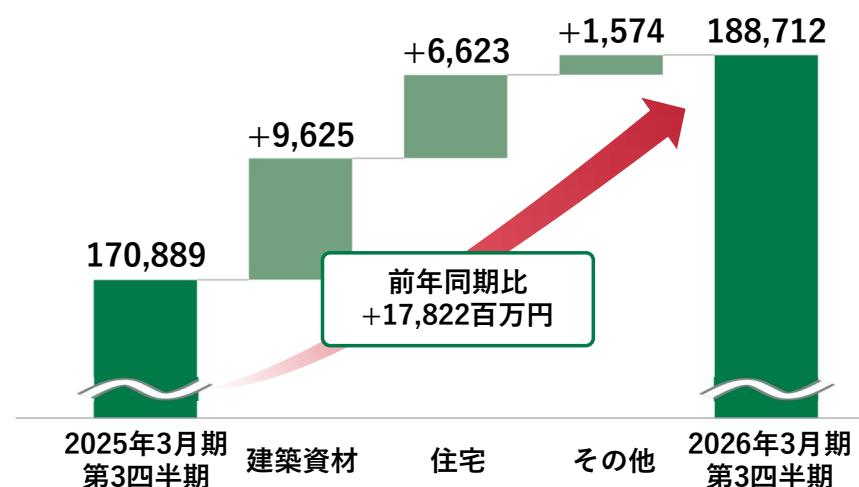
- ・ 新築及び中古買取再販マンションの売上計上戸数が増加
- ・ 賃貸管理事業が堅調に推移したことに加え、一棟収益物件の売上計上が寄与

その他

- ・ 建築工事事業等が堅調に推移

セグメント別売上高 増減要因 (前年同期比)

(単位：百万円)



商品別売上高



(単位：百万円)		2025年3月期 第3四半期	2026年3月期 第3四半期	増減額	増減率 (%)
建築資材	木材	42,833	40,121	△2,712	△6.3
	建材・住宅設備機器	93,170	105,519	+12,348	+13.3
	木材市場	202	192	△10	△5.2
	合計	136,207	145,832	+9,625	+7.1
住宅	マンション	6,953	12,430	+5,476	+78.8
	一戸建住宅	6,696	6,899	+203	+3.0
	管理その他	14,612	15,555	+943	+6.5
	合計	28,262	34,885	+6,623	+23.4

- ・国産材の売上が増加した一方、輸入材の売上が減少
- ・サッシ・エクステリア等の販売が増加
- ・新規取引先が増加
- ・新築及び中古買取再販の売上計上戸数が増加
- ・賃貸管理事業が堅調に推移したことに加え、一棟収益物件の売上計上が寄与

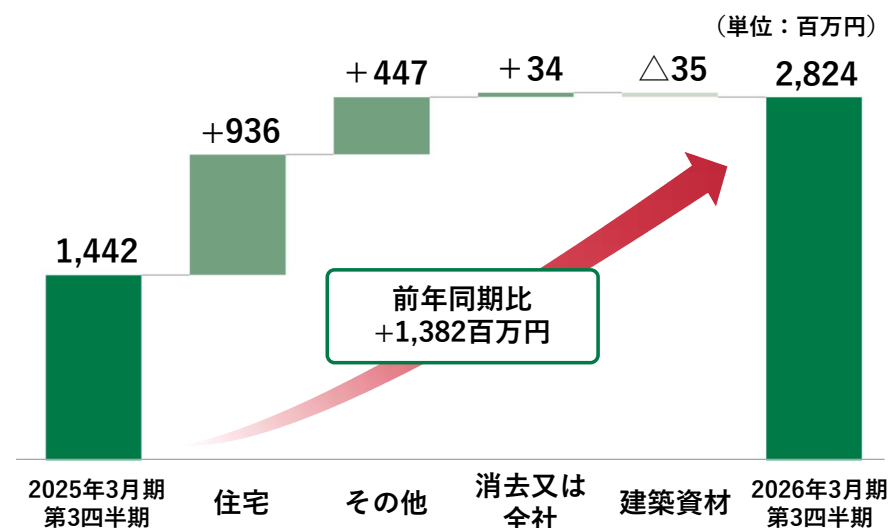
セグメント別営業利益



セグメント別営業利益

(単位：百万円)	2025年3月期 第3四半期	2026年3月期 第3四半期	増減額	増減率 (%)
建築資材	1,645	1,609	△35	△2.2
住宅	744	1,680	+936	+125.8
その他	419	866	+447	+106.7
計	2,809	4,157	+1,347	+48.0
消去又は全社	△1,367	△1,332	+34	-
合計	1,442	2,824	+1,382	+95.9

セグメント別営業利益 増減要因 (前年同期比)



建築資材

- ・増収となった一方、支払運賃の増加とのれん償却等によりほぼ横ばい

住宅

- ・新築及び中古買取再販マンションの売上計上戸数が増加
- ・賃貸管理事業が堅調に推移したほか、一棟収益物件の売上計上が寄与

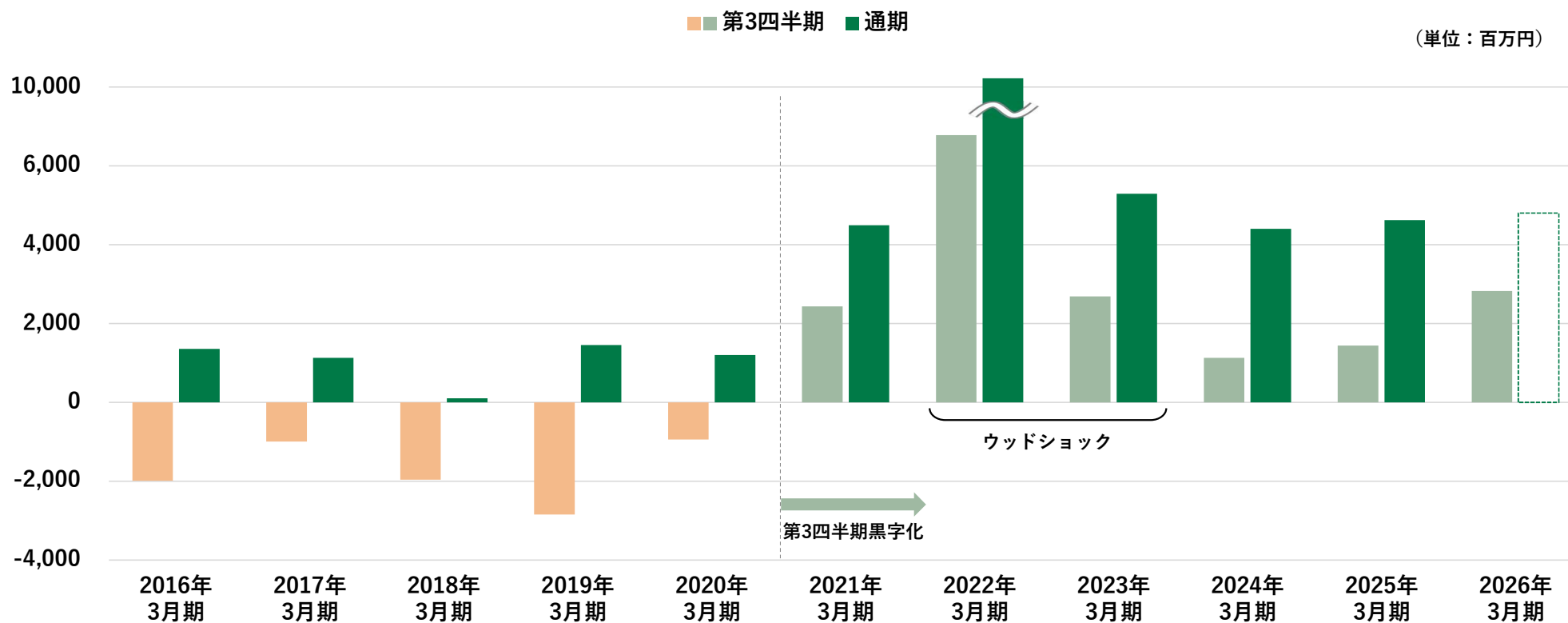
その他

- ・建築工事事業等が堅調に推移

営業利益の推移



第3四半期までは赤字の傾向であったが、徐々に利益の平準化が図られている



住宅セグメント 契約戸数・売上計上戸数



2025年3月期 第3四半期

(単位：戸)	① 契約済売上 未計上戸数 前連結会計年度末	② 契約戸数	③ 売上計上戸数	① + ② - ③ 契約済売上 未計上戸数 第3四半期 連結会計期間末
マンション	147	264	146	265
(新築)	(134)	(168)	(52)	(250)
(中古買取再販)	(13)	(96)	(94)	(15)
一戸建住宅	123	198	140	181
合計	270	462	286	446

2026年3月期 第3四半期

	④ 契約済売上 未計上戸数 前連結会計年度末	⑤ 契約戸数	⑥ 売上計上戸数	④ + ⑤ - ⑥ 契約済売上 未計上戸数 第3四半期 連結会計期間末
マンション	151	279	232	198
(新築)	(140)	(132)	(105)	(167)
(中古買取再販)	(11)	(147)	(127)	(31)
一戸建住宅	122	182	135	169
合計	273	461	367	367

マンション

- ・新築及び中古買取再販マンションの売上計上戸数が増加
- ・第3四半期において新築マンション「ノブレス横濱鶴見ロイヤルテラス（85戸）」が全戸計上
- ・注力している中古買取再販マンションが契約・計上・売上未計上戸数ともに伸長

一戸建住宅

- ・前年並みで推移

住宅セグメント 販売用不動産の内訳



(単位：百万円)		2025年3月期 期末残高	2026年3月期 第3四半期末残高	増減額	
住宅事業	完成販売用不動産	5,823	6,404	+581	・ 一棟収益物件の取得等により増加
	仕掛販売用不動産	9,013	15,416	+6,403	・ 新築マンションの建築工事進行 ・ 中古買取再販マンションの仕入の増加
	開発用不動産	7,778	8,765	+986	・ 新築分譲用地の増加
	合計	22,615	30,586	+7,971	
うち中古買取再販	完成販売用不動産	931	1,227	+295	
	仕掛販売用不動産	2,729	5,213	+2,484	
	合計	3,660	6,440	+2,779	・ 事業拡大による仕入の増加

連結貸借対照表 概要



(単位：百万円)		2025年3月期 期末残高	2026年3月期 第3四半期末残高	増減額	
資産	現金及び預金	25,567	22,263	△3,304	・ 棚卸資産の増加に伴い減少
	売上債権・契約資産	42,094	45,039	+2,945	
	商品	7,785	8,888	+1,103	・ 木材在庫が増加
	販売用不動産・未成工事支出金	23,239	31,438	+8,198	・ 新築分譲用地の取得及びマンションの建築工事 進行と中古買取再販マンションの仕入の増加
	有形固定資産	46,253	46,586	+332	
	資産合計	171,037	178,994	+7,957	
負債・純資産	仕入債務	44,572	44,649	+77	
	借入金	41,903	49,252	+7,349	・ 販売用不動産の取得等に伴い増加
	負債合計	109,376	114,833	+5,457	
	純資産合計	61,661	64,160	+2,499	
	負債純資産合計	171,037	178,994	+7,957	
自己資本比率		32.9%	32.7%	△0.2pt	

2. 2026年3月期 連結業績予想

2026年3月期 連結業績予想（概要）



(単位：百万円)	2025年3月期 通期 (実績)	2026年3月期 通期 (予想)	2026年3月期 第3四半期 (実績)	進捗率 (%)
売上高	243,054	260,000	188,712	72.6
(建築資材セグメント)	(183,082)	(194,000)	(145,832)	(75.2)
(住宅セグメント)	(50,796)	(56,000)	(34,885)	(62.3)
(その他)	(9,174)	(10,000)	(7,994)	(79.9)
営業利益	4,628	4,800	2,824	58.9
経常利益	4,305	4,400	2,709	61.6
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,872	3,000	1,632	54.4
EBITDA ※	6,680	7,000	4,776	68.2

※ EBITDA：営業利益＋減価償却費＋のれん償却額

- ・ 2026年3月期通期の連結業績予想につきましては、現時点において2025年5月14日に公表した予想数値から変更ありません。
- ・ 第4四半期に売上計上予定のマンション・一戸建住宅の契約が堅調に進捗しており、売上高および利益の各項目についても、計画どおり推移しております。

株主還元



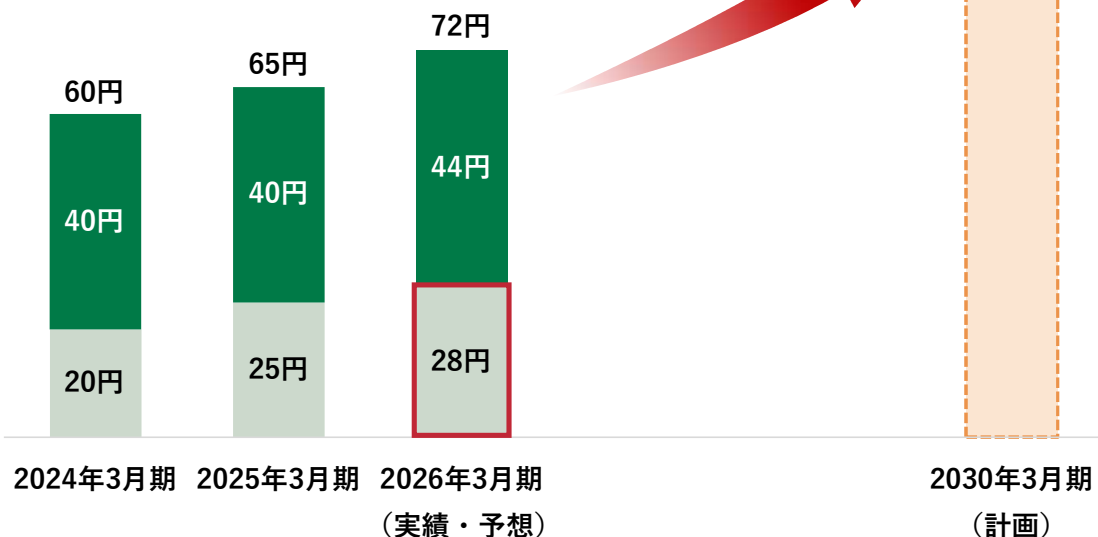
中長期的な持続的成長を通じた累進配当を導入

2030年3月期まで每期7円増配していく計画

■ 中間配当 ■ 期末配当

毎期7円の増配を継続

100円(計画)



株主優待制度

年に2回、株主優待を実施

保有株式数及び継続保有期間に応じて、以下のとおり緑の募金への寄付金付き「おもいやり」QUOカードを贈呈

保有株式数	継続保有期間	
	3年未満※	3年以上※
100株以上 300株未満	QUOカード 500円	QUOカード 1,000円
300株以上 500株未満	QUOカード 1,000円	QUOカード 2,000円
500株以上	QUOカード 1,500円	QUOカード 3,000円

※「継続保有期間」は、基準日（毎年3月末日及び9月末日）において、同一の株主番号で各区分の最小株式数（100株、300株及び500株）を下回ることなく株主名簿に継続して記載された期間とします。

年2回贈呈



※イメージ画像

NiCE

3. Appendix

- ・ ナイスグループのご紹介
- ・ ナイスグループを取り巻く環境
- ・ 第3四半期 TOPICS

ナイスグループのご紹介 - 75周年のあゆみ -



建築資材事業



1950

木材市場として創業



1959

建築資材全般の取り扱いを開始



1962

輸入木材の取り扱いを開始



2000

木材プレカット事業を開始



2011

エネルギー関連商品の取り扱いを開始



2014

国産木材製材事業を開始



2021

国産の原木の供給を開始



住宅事業



1971

住宅分譲事業を開始



1974

マンション管理事業を開始



1977

不動産仲介事業を開始



1988

不動産賃貸管理事業を開始



2009

中古住宅買取再販事業を開始



その他の事業



1984

建築資材向け経営管理システムを開発



1986

総合物流センターを開設



1992

建築工事業を開始



1993

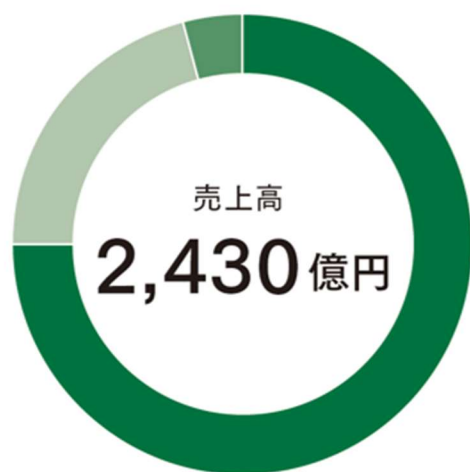
ケーブルテレビ局を開局



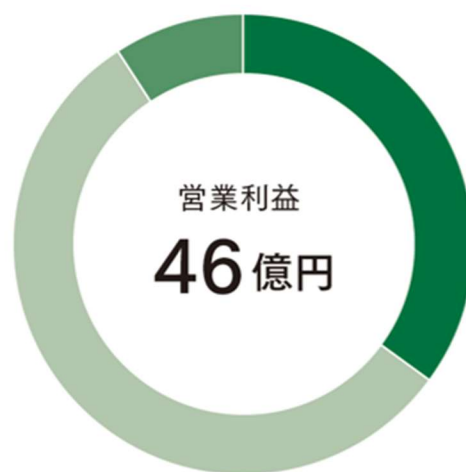
ナイスグループのご紹介 - 業績と拠点展開 -



2025年3月期経営成績



■ 建築資材セグメント	1,830億円
■ 住宅セグメント	507億円
■ その他	91億円

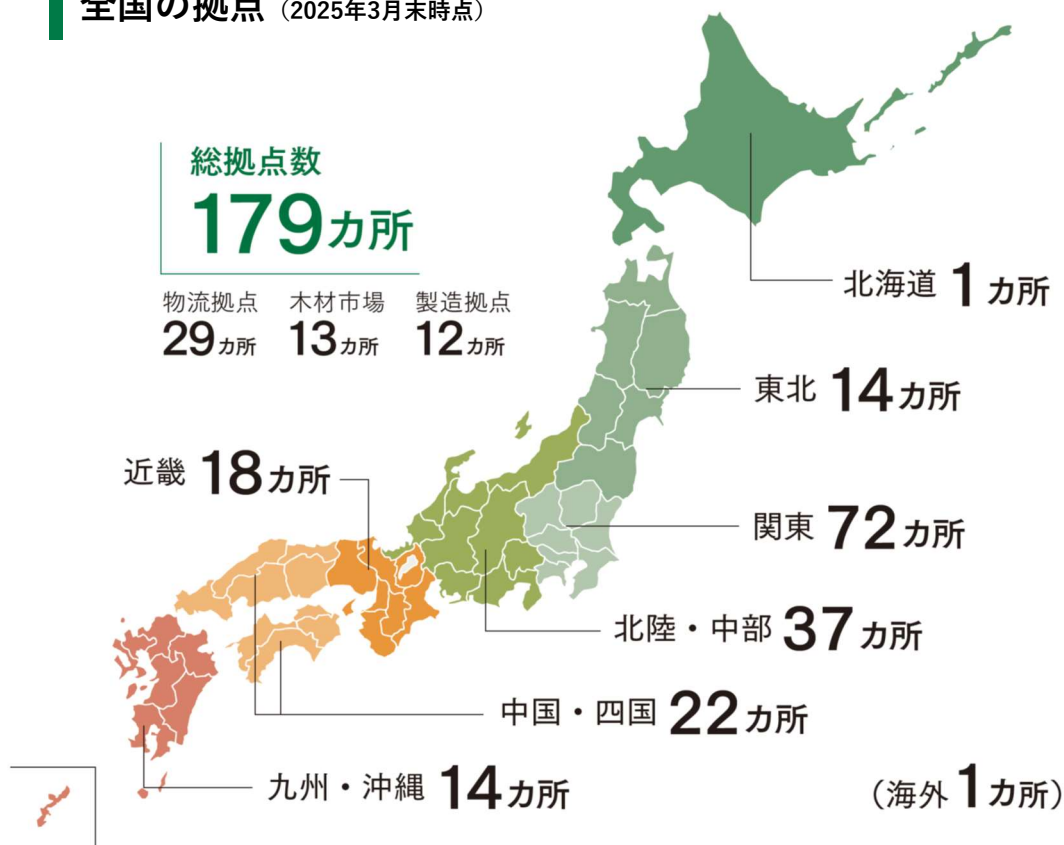


■ 建築資材セグメント	22億円
■ 住宅セグメント	35億円
■ その他	6億円

※数値は億円未満を切り捨てのため、合計が一致しない場合があります。

※営業利益はセグメント利益です。

全国の拠点 (2025年3月末時点)

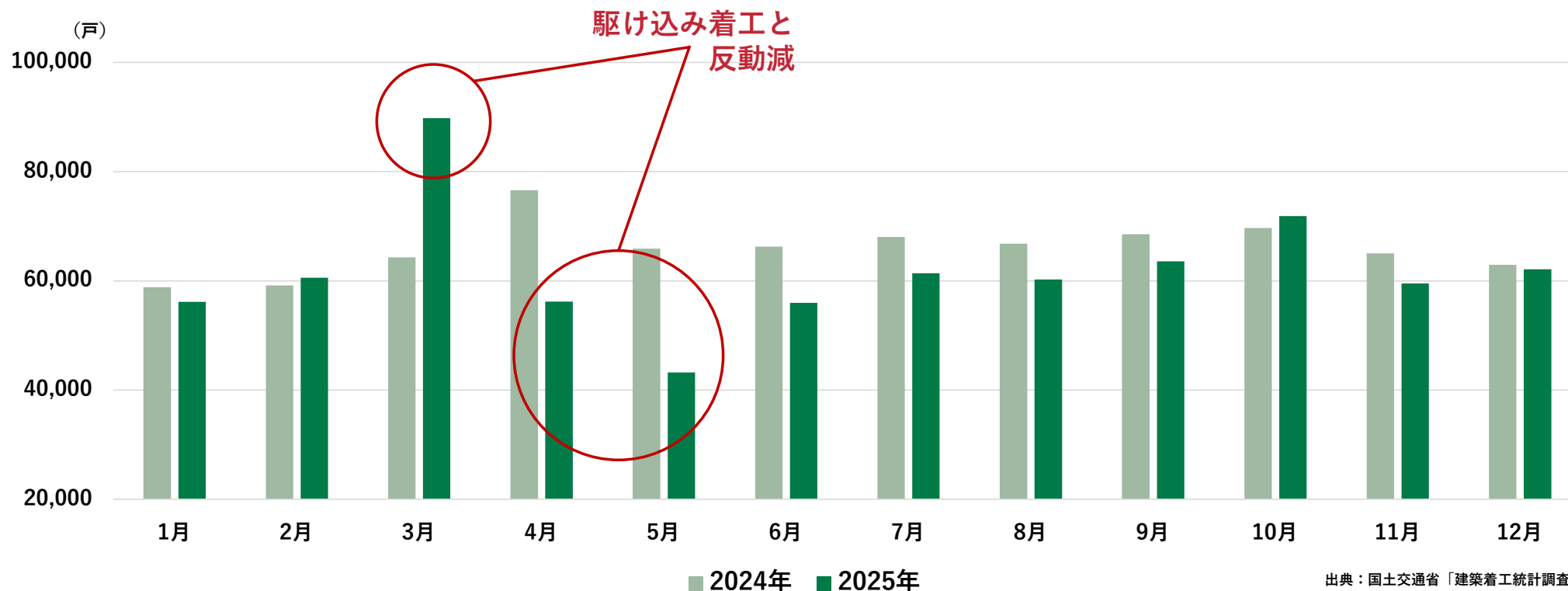


ナイスグループを取り巻く環境



新設住宅着工戸数の推移

2025年の新設住宅着工戸数は前年比6.5%減少の74.0万戸で、3年連続の減少となった
2025年4月に建築基準法が改正となった影響等により、例年以上の激しい変動が見受けられる



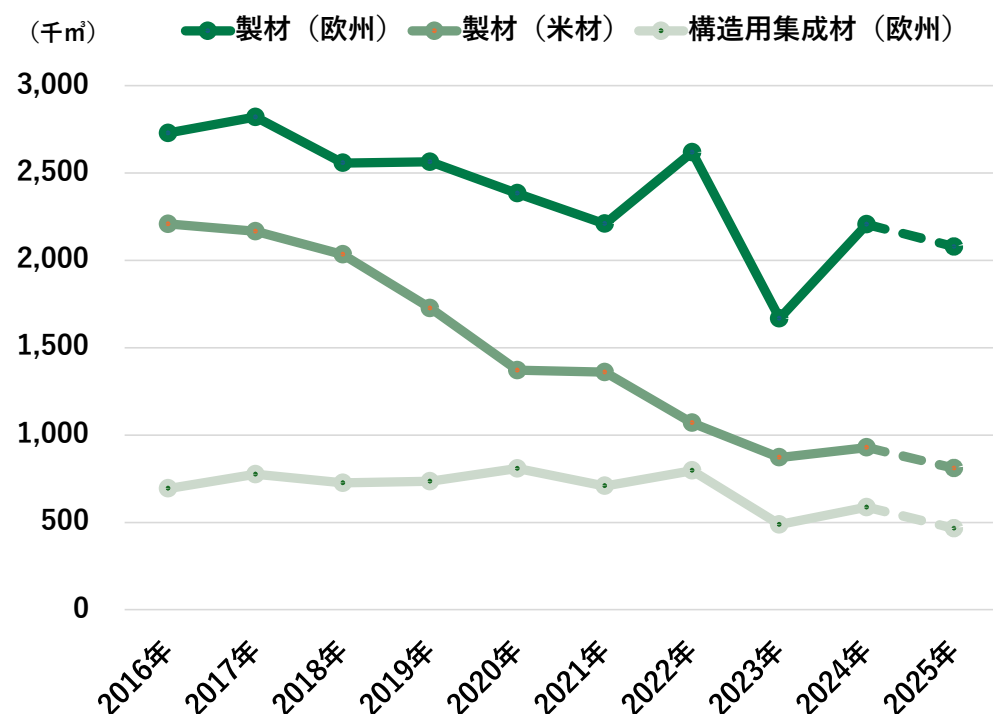
出典：国土交通省「建築着工統計調査報告」

ナイスグループを取り巻く環境



製材・構造用集成材 輸入量の推移

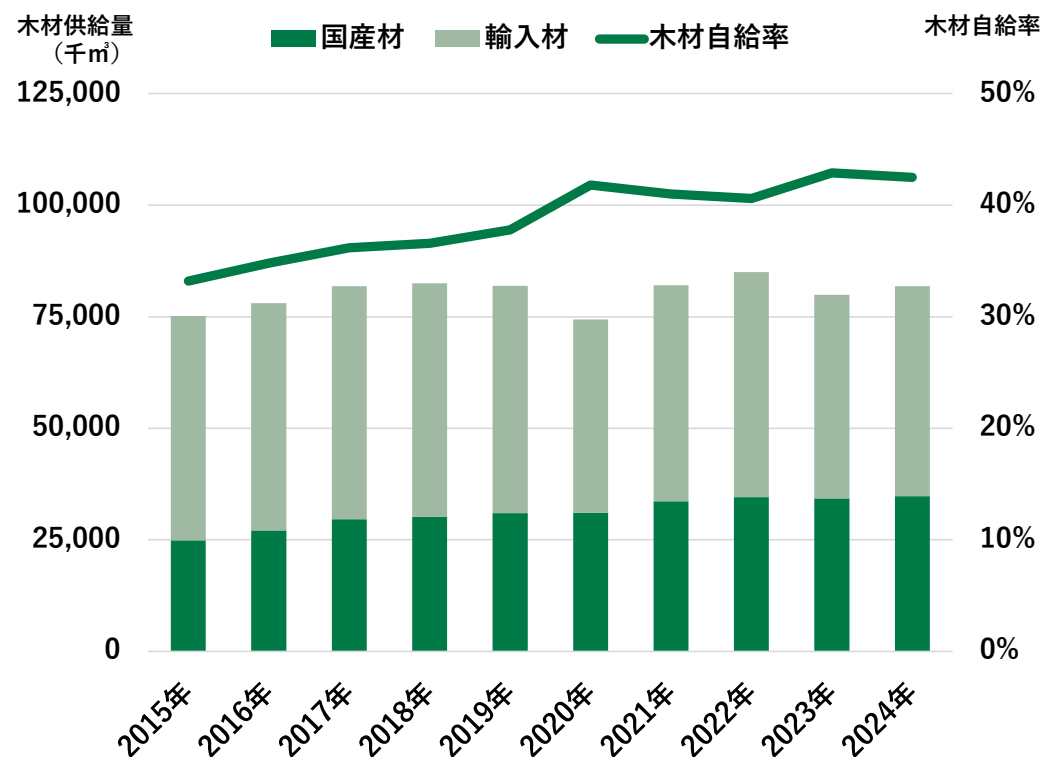
円安の進行や現地の原木価格の高止まりを背景として、輸入量は減少傾向にある



出典：林野庁「輸入木材実績」

木材自給率の推移

国産材の利用拡大と輸入材の変動により、木材自給率は上昇傾向にある



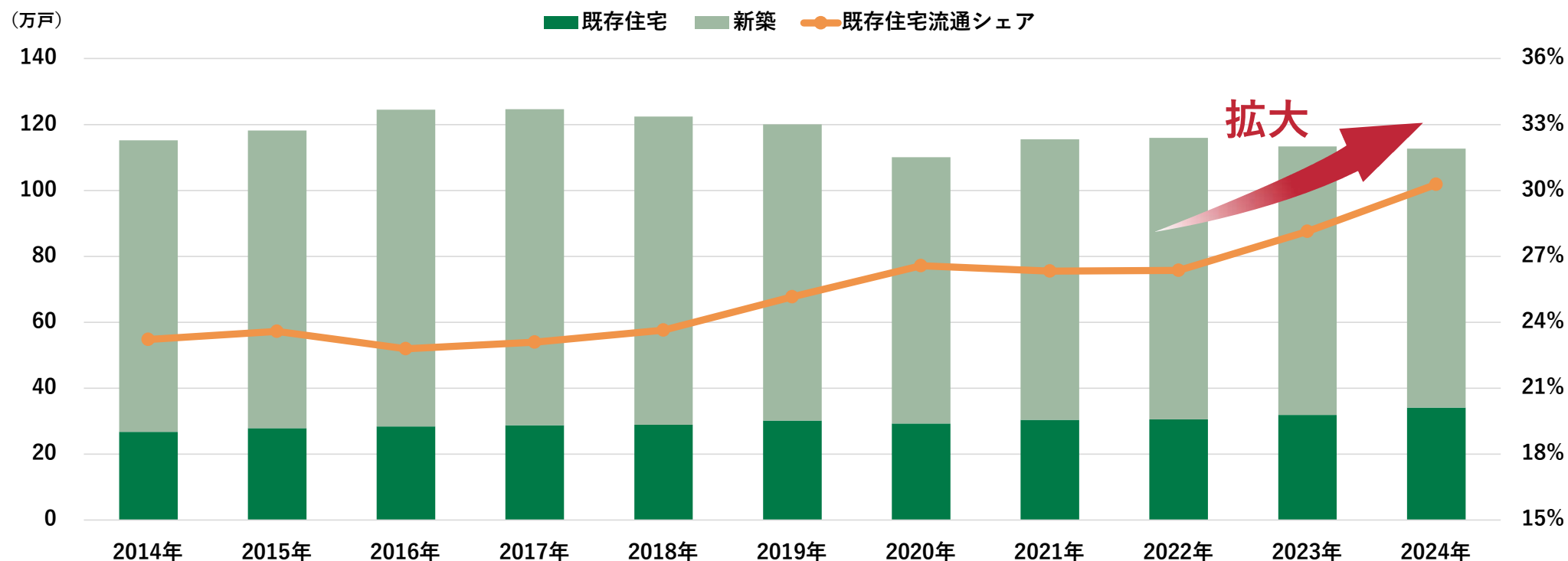
出典：農林水産省「木材需給表」

ナイスグループを取り巻く環境



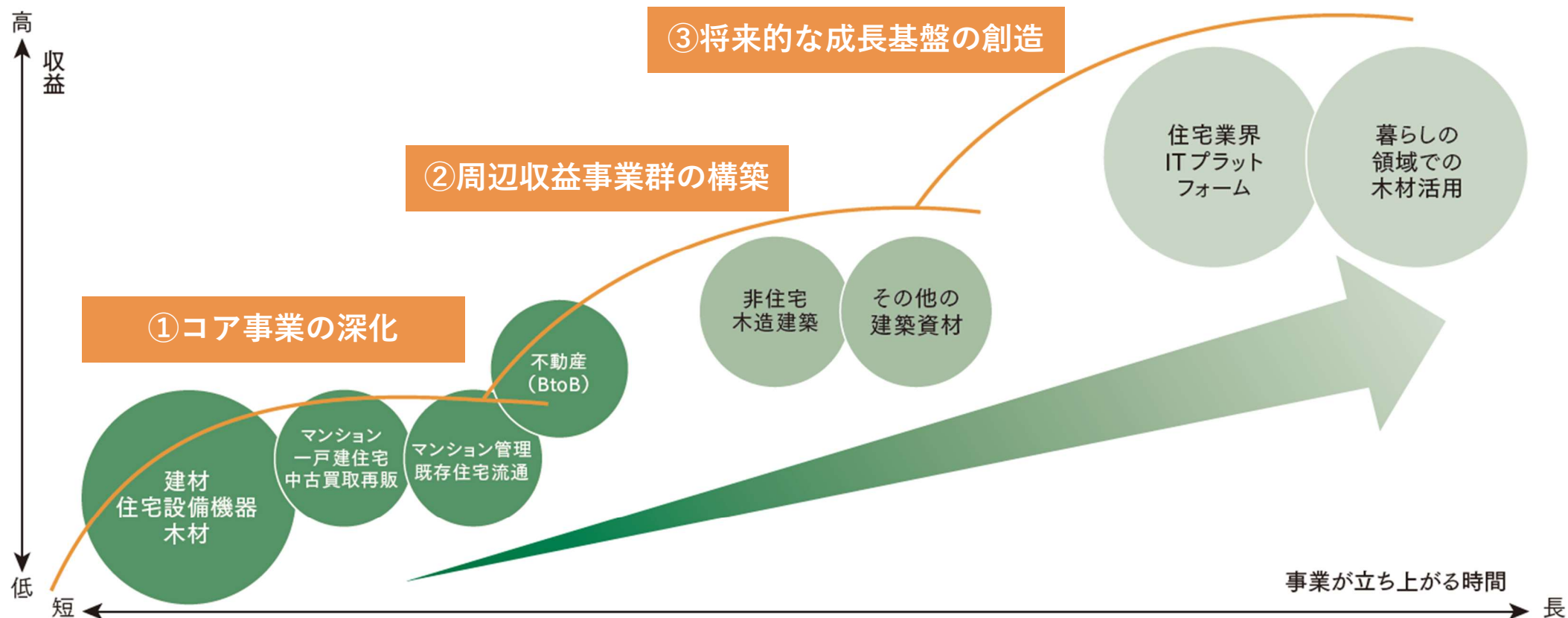
既存住宅流通シェアの推移

新築住宅が減少傾向にある中、既存住宅の流通量は増加傾向にあり、需要を下支えしている



出典：国土交通省 既存住宅販売量指数、住宅着工統計

ナイスグループを取り巻く環境から、事業ポートフォリオの方向性を設定



「中期経営計画 Road to 2030」において成長ドライバーを設定



超・新築

国産木材
の供給

超・新築

非住宅
木造建築

超・物流

エネルギー
関連商品の
供給

超・領域

無垢国産材
コンポーネント
展開

超・新築

賃貸管理

超・新築

マンション
総合管理

超・新築

中古
マンション
買取再販

超・物流

物流

超・領域

木造建築業界
流通プラット
フォーム

成長ドライバー 《国産木材の供給・非住宅木造建築》



緑豊かな公園に溶け込む、木質感あふれる憩いの場を創出

「タリーズコーヒー ロースター相模大野中央公園店」を施工

ナイスグループが、木材調達から設計・施工、木質化提案に至るまで一貫して担当しました。

内外装については、公園の緑豊かな景観に調和するよう、木の温もりを生かしたデザインを提案し、採用されました。

このうち外壁には、高い耐久性を誇る宮崎県産飫肥（おび）杉の赤身部分を用いた「ObiRED®」に、独自の特殊表層圧密加工を施した「凸凹Gywood®」が使用されています。

成長ドライバー 《国産木材の供給・非住宅木造建築》

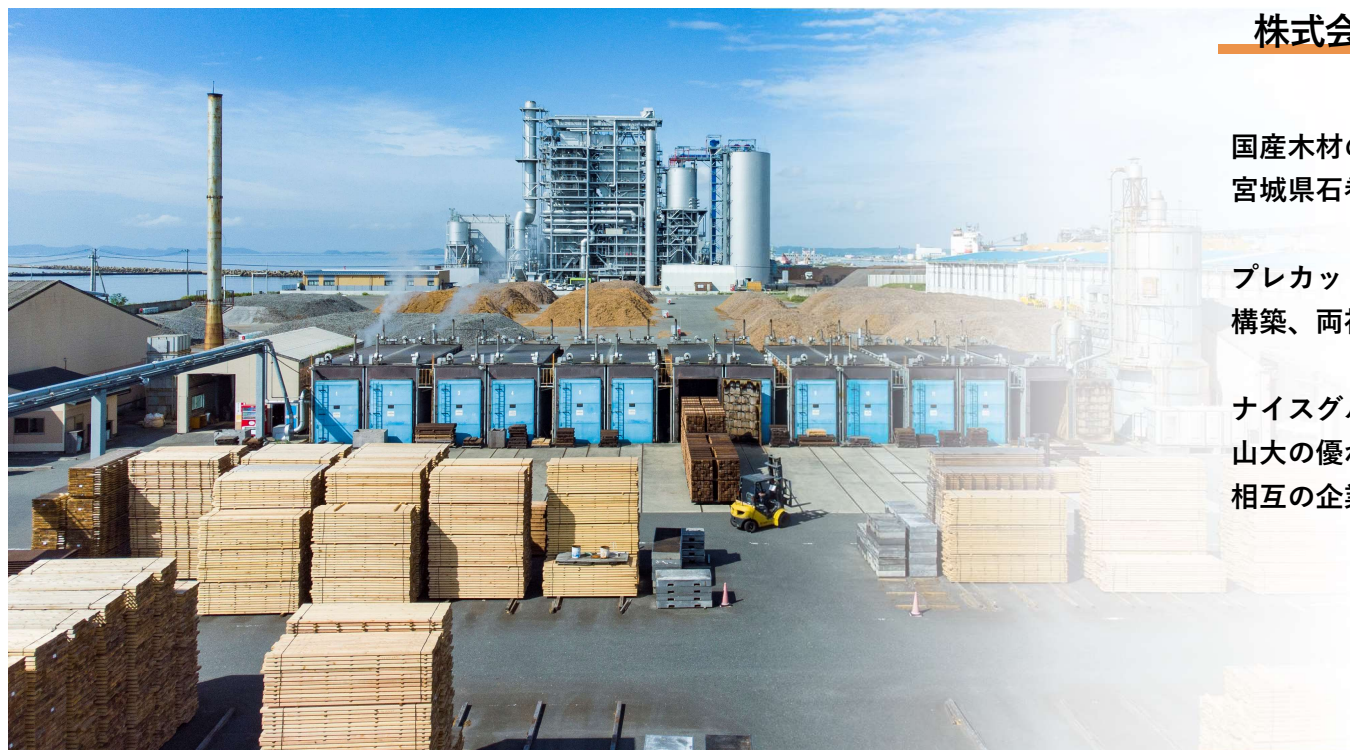
国産材の供給力強化で、持続可能な木造建築の未来を共創

株式会社山大と業務提携契約を締結

国産木材の利用拡大と非住宅市場の需要獲得を目指し、
宮城県石巻市の株式会社山大と業務提携をいたしました。

プレカット事業における連携強化や国産材の更なる安定供給体制の
構築、両社の連携を通じたシナジーの創出を図ります。

ナイスグループの広域な流通網と、
山大の優れた国産材の安定供給及び木材加工の能力を有効に生かし、
相互の企業価値向上を目指してまいります。



第3四半期 TOPICS - 中期経営計画Road to 2030 成長ドライバーの取り組み -



成長ドライバー 《賃貸管理》

2026年10月1日、東京都足立区の賃貸管理会社

「株式会社 新井商事ビル管理」の株式を取得

ナイスグループ賃貸管理戸数 約3,500戸増

既存管理戸数
と合わせて… 約11,000戸超の管理体制

ストック事業の安定した収益・プラットフォームを基盤に、
周辺事業領域（売買仲介・一棟収益物件・買取再販・アパート建築）の
拡大を図ってまいります。





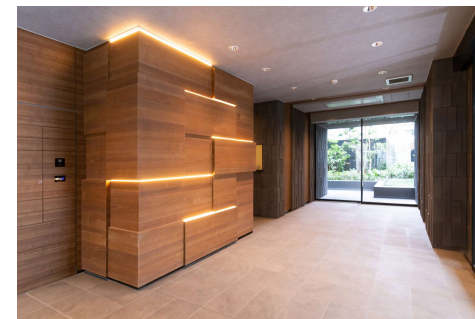
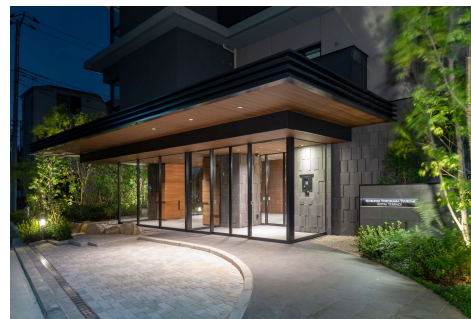
新築分譲マンション

首都圏初となる「ZEH-M Oriented × 耐震等級2」の新築分譲マンション

ノブレス横濱鶴見ロイヤルテラスが全戸引き渡し

三ツ池公園に近接する緑豊かな住環境と、
首都圏初となる「ZEH×耐震等級2」を両立した
次世代型マンションが全戸引き渡しとなりました。

共用部を木質化することで上質な空間に仕上げているほか、
バリエーション豊かな平均73㎡超の広々とした住戸プラン、
万一の地震でも避難所と同等レベルの耐震性能を有する「強耐震」構造、
そして光熱費を抑える高い断熱性能が多くの支持を集めました。



サステナビリティの推進

気候変動対策への取り組みが「マネジメントレベル」と国際的に評価

国際的な環境指標「CDP」において、
初回答で「B」スコアを獲得

CDP2025「気候変動」分野において、
「マネジメントレベル」に該当する「B」スコアの評価を受けました。

引き続き、木材の循環利用の促進や環境配慮型商品・サービスの提供により、
温室効果ガス排出量の削減及び森林によるCO2吸収量の増加に貢献し、
事業活動を通じて脱炭素社会の実現と企業価値の向上に努めていきます。



木を知り、 暮らしを支える。

木のそばに人がいて、
休むという字になるように。

木と人の安らぎは、切り離せないのかもしれない。
だからNICEはずっと木と人の間にいる。

まっすぐであること。

生命を守りぬく強さを持つこと。

それ以上の優しさで包むこと。

建築資材会社として木に学んできたそれらの思いを、
住宅会社として住まいづくりに活かしながら、
安らぎのある暮らしを支えてきた。

だから、暮らす人の「ああ、ほっとする」と笑う顔が、
何よりもうれしい。

NICEは、これからも、木を育て、木と育っていく。
この国の暮らしを支える大樹になることを目指して。
その木の下で、木漏れ日のなかで、
人々が人生を楽しむ姿を思い描きながら。



NICE ナイス株式会社